

令和4年度 佐久市総合計画審議会第1部会（第2回） 会議録

日時：令和4年8月19日（金）

午後1時30分～

場所：佐久市市民創錬センター
多目的室4・5

【出席者】井出（時）部会長、土屋副部会長、堀内委員、井出（ま）委員、秋山委員、原委員、笠井委員、宮澤委員

【事務局】木内企画課長、安井企画調整係長、井出主任、大井主事

○協議事項等

次第

1 開会

- ・部会長挨拶
- ・欠席委員報告（伊坂委員、竹内委員、柴平委員）

2 議事

（1）第二次佐久市総合計画前期基本計画の進行管理について

質疑、意見

事務局	<p>第1部会では、「第二次佐久市総合計画前期基本計画」の第1章の教育、文化、生涯学習分野、第6章の防災、交通安全、防犯分野、第7章の協働、行財政、交流分野について審議を行い、本日は第1章についてご審議いただく。</p> <p>【第二次総合計画前期基本計画 令和3年度進行管理報告書】 うち、「第1章 生涯にわたり学び生きる力を育むまちづくり」 「幼児教育」（10ページ）について説明</p>
部会長	<p>幼児教育について、ご質問等ありますか。</p>
委員	<p>全体を通して伺いたい。市民アンケートによる満足度指数について、信頼性を高めることが重要だと考えるが、市内に在住する16歳以上の男女1,000人を対象としたものであるとのことで、毎年質問は同じ項目を聞いているのか、また、それぞれの回答に対する年齢構成のデータは取っているか。</p>

事務局	<p>第二次総合計画前期基本計画の5年間については、基本的に毎年同じ項目で質問をしている。回答者の属性については、16歳以上の市民の中で、年齢層や住んでいる地区、性別などがなるべく偏らないように抽出を行っている。</p>
委員	<p>アンケートの母数は最少でも1,000人と考えてよいか。数字の信ぴょう性の高さは議論を行う上で大事になる。</p>
事務局	<p>おっしゃる通りである。アンケートの回収率を上げるために催促のはがきを送付するなどしているが、全員から回答を得ることは難しい。ただ、データとして信用できるくらいの回答率はある。</p>
委員	<p>どのようなアンケートを行ったのか、生のデータが欲しい。アンケートの質問項目についても審議会の審議の対象となると考えている。ホームページに調査結果の報告書はまとまっているが、情報が探しづらく共有ができていないと感じる。</p>
委員	<p>娘宛てに届いた今年度のアンケートを見て、この結果にどの程度の信ぴょう性があるのかと感じた。男性が何%、女性が何%とか、何人が回答したとか、年齢はどれぐらいだとか、地域別にどれぐらいだとかっていう具体的なデータはとても参考になると思う。どこが良いのか悪いのか、どうしてほしいのかを書く欄がなく、ただ「満足している」「やや満足している」とあるだけ。娘はリモートで佐久市に帰ってきて仕事をしているが、帰ってきてまだ2カ月くらいで、よく分からないまま回答していた。ランダムに選ばれているとのことなので、こういうこともあるのかもしれない。1,000人のうち50%くらいの回答率だと、回答者の属性を分けたときに、どんどん回答者が少なくなっていて、質問項目もこれでいいのかと感じる。</p>
事務局	<p>10万人規模の都市であれば、1,000人からアンケートを取ればそこまで誤差はないということで行っている。次回の部会の際にアンケート結果について配布する。</p>
委員	<p>今後、回答者の内訳で、例えば、エリア別、年代別、子育てに携わっている人かどうか等も示してもらえれば、よりデータが信</p>

事務局	<p>頼できるようになるのではないか。</p> <p>例えば子育て支援計画や施設の建築計画のようなものであれば、子育て世代や施設の利用者など、ピンポイントでデータを集めることはできると思うが、総合計画については市の施策を網羅しているものであるため、なるべく幅広い世代、幅広い年齢層から無作為にアンケートを取らせていただいている。</p>
委員	<p>例えば移住された方が沢山いる中で、初めは非常に満足していたが、5年、10年経つてくると、粗が見えてきて不満が増えるようなことがあるとすれば、そういう点を拾い上げないといけない。移住して初めのうちは移住支援等があるが、それが切れた途端に住みにくい、手続きが面倒になった、などということがあれば対策の必要がある。年代や居住年数別の分析、ずっと住んでいる人や、移住してきた人、戻ってきたばかりの人は良いと言ってくれているけれど、中だるみが起きているのか。そういったことは、施策の対象になるのではないか。そういう点を拾い上げられるようなアンケート内容を検討いただきたい。今年度のアンケートはすでに発出されているが、今回の内容が来年の調査に反映されるか、中間でもう一度アンケートを行うか、という話になると思う。</p>
事務局	<p>来年度の調査に向けて検討させていただきたい。</p>
委員	<p>アンケートは、取り方によっては実際とは反対の答えが出るなど、とんでもない結果が出ることもあるため、アンケートの取り方は重要であることからお願いしている。来年度のアンケートに向けて、聞きたいことを網羅できるよう、どのようなアンケートを行うか、施策ごとに別途議論を行うことを提案したい。</p>
事務局	<p>会議で議論するところまではお約束できないが、内部で検討させていただきたい。</p>
委員	<p>データを経年的に見るためには質問項目は同じでないとならないため、項目は付け加えるしかないが、そうして付け加えていくとアンケートが長くなってしまう。</p>

事務局	<p>ただ、回収率を上げるための工夫や、不作為選出の割り振りの仕方、どこの層にどう聞くかなどは確かに見えたほうがいいと考える。</p> <p>同じ項目について推移を5年間で見えており、項目を変えてしまうと結果も変わってしまうので、ベースとしては今までのようになるかと思う。</p>
部会長	<p>貴重なご意見ありがとうございます。全体に対するご意見についてはまた検討していただくとして、今は幼児教育の施策について検討を行うため、委員の皆様には施策に関してのご意見を願いたい。</p> <p>幼児教育について、ご意見・ご質問はありますか。</p> <p>それでは、こちらについては、このように取組を進めていただくということよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>(異議なし)</p>
部会長	<p>では、次の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>先ほどのご意見に関連して、令和3年度は1000人を対象にアンケートを行い回収率は53.4%でした。</p> <p>「学校教育」(11ページ)について説明</p>
部会長	<p>幼児教育について、ご意見・ご質問はありますか。</p>
委員	<p>ボランティアで学校に行かせていただいているが、支援教室に行くと子どもたち全員がタブレットを活用していて驚いた。子どもの可能性もどんどん伸びていくのではないかと思い、本当にありがたい。</p>
委員	<p>来年度から、部活動の地域移行に向けた移行期間に入り、再来年からは完全に学校と部活が切り離されてクラブ化されていくという話を徐々に聞いているが、十分な説明もなく、お母さん方は不安を持っている。部活という今までの仕組みがクラブ化する</p>

	<p>ことで、子どもたちが取り残されてしまうのではないか、ということに危惧している声をたくさん聞く。移行期間に入る前に、もう少し分かりやすい説明をしてもらいたい。</p> <p>部活動の移行については、事前に保護者の持つネットワークを活用して、地域や保護者を巻き込んでみんなで考えるやり方が、市の負担も少なく、みんなが納得して子どもたちがスポーツに取り組める環境を作れるのではと感じる。</p>
事務局	<p>部活動の地域移行については、まだ具体的な部分が見えていないところがある。今、地域の方々に委託して部活動指導員というものが始まっているが、それが拡充されていくのか、どういう形で地域移行が進んでいくのかが未だ見えない状況。スポーツ庁の有識者会議等の中で、部活動の地域移行が進んでいくことが国の報道で出されて、そちらが先行してしまっているような形になっている。教育委員会にも、皆様に説明をするまでの情報が下りてきてないようなところもある。教育委員会に適切なタイミングで説明するように伝えたい。</p>
委員	<p>生涯学習の施策についても関わることだが、教育については、幼児、学生、青少年と段階を追って行われているが、社会人になると学習の機会が減ってしまう。子どもたちと老後の方には学習機会があるが、真ん中が抜けてしまっている。子ども議会や高校でのワークショップなどの年代ごとにまとまった活動は行われているが、幅広い年代をミックスした活動を学校教育へ取り入れることが重要なのではないか。</p>
事務局	<p>そのような活動の一環として、部活動についても地域の皆さんに協力していただいている。これまでもこのような取組はあったと思うが、今後はまた次の段階に入っていくのではないかと考えている。</p>
委員	<p>18歳以上が選挙権を持つようになり、投票の仕方などについて勉強を行うと思うが、その中で、どうやって候補者を選ぶか、上の世代の間違った選択の経験を伝えるような機会がなく、繋がっていないことが問題だと考える。</p>

事務局	ご意見として承る。
委員	タブレット端末とドングルの貸し出しによりコロナ禍の学習機会を確保したとあるが、これを日常的に使ってもらうようなことはしているのか。
事務局	例えば、夏休み期間中は子どもたちに持って帰って使ってもらったりしている。先生方も、学校教育でタブレット端末をどうやって活用していくか、情報教育をどう進めるかについて、研修や先生同士で話し合いをしながら、できる限り情報機器を活用することで進めている。普段の授業でも使っている。
委員	小学生の孫がいるが、自由研究を端末で行っていて、これだけ使いこなせるのかと驚いている。プレゼンテーション等も行う。 先生方の意識も変えないといけないと思う。そのあたりがどこまで学校に浸透しているか。
事務局	プログラミングのような授業も現在行っているようで、先生方もできる限り子どもたちにICT教育を進めていこうと努力されていると聞いている。
部会長	ありがとうございます。時間がなくなってきていますので、ご意見がまだあるようでしたら、個別に事務局へお伝えいただけますようお願いいたします。
委員	意見を個別に事務局へ伝えた際の処理はどのようになるのか。ここで議論したものは議事録にまとめて各委員が確認するというように聞いていたが、今日は前回の議事録について示されていない。
事務局	スケジュール的に議事録を次の部会までに用意するのが困難なため、後ほど皆様にお渡ししたい。
委員	部会終了後に個別に出した意見については、部会長と協議して次の部会に出すなどをしないと部会の中で共有できない。個別に出した意見についても、必要な意見については、部会で共有し、

事務局	<p>審議ができるような形にしてもらいたい。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策のため、前回の部会は会議時間が1時間と短くなってしまった。今日も感染状況は落ち着いているわけではないが、必要な会議ということで対面での開催、時間も1時間から2時間ということで実施させていただいた。</p> <p>今の状況下で、時間無制限で審議を行うというのは現実的ではないため、時間に限りはあるがその中でご意見を伺っていきたい。個別に出していただいた意見についても、会議の中で出していただいた意見と同様に扱う。</p>
部会長	<p>審議会で審議を行う中でご意見を頂き、それを共有することが大事なことから、対面で審議を行っているところであるが、時間の制限上、個別でご意見を出していただく形となっても、それがどこかに消えてしまう、ただ意見を聞いてもらっただけで終わり、ということではなくて、あくまでもご意見としてしっかり事務局の方で受けとめていただき、その結果、それを今度は全体の審議会のときに全て発表する、こういう意見が出ました、最終的にはこういうふうな形で審議させていただきましたということを、報告していく。その段階では必要のあるものは全部そこに網羅するというので、個人的に出していただいた意見が、全体で共有はできない部分も確かにあるが、決してそれが無効になってしまうとかそういうことではないということを理解していただき、もしどうしてもいただいた意見をみんなで共有して審議をしなくてはならないような内容のものであれば、それはそれで検討していただいて、この場を出して、それで皆さんに諮っていただくということだと思う。</p>
委員	<p>議事録に議事とその後に出た意見を記載し、次回の会議の冒頭で渡す、もしくは会議の前に目を通すような形が一番スムーズであると思う。</p>
事務局	<p>3つの部会を並行して行っており、難しいところがあるため、検討させていただく。</p>
部会長	<p>いずれにしても今後の課題として、今ご意見いただいたことも</p>

	<p>含めて、今後、どのように進めていくかということで、考えていただきたい。</p> <p>学校教育について出た意見は、部会の報告の中に意見として付記をお願いします。よろしいでしょうか。</p>
委員	(異議なし)
部会長	では、次の説明をお願いします。
事務局	「高校教育・高等教育」(12 ページ) について説明
部会長	<p>高校教育・高等教育について、ご意見・ご質問はありますか。</p> <p>それでは、こちらについては、このように取組を進めていただくということでよろしいでしょうか。</p>
委員	(異議なし)
部会長	では、次の説明をお願いします。
事務局	「青少年健全育成」(13 ページ) について説明
部会長	青少年健全育成について、ご意見・ご質問はありますか。
委員	<p>今後の方針に、国家的行事である成人式の参加を促すための効果的な周知を行うとあるが、今、成人式は、1 か所に集まって行っているが、地区ごとに分けて行ってはどうか。成人式は多くの人が集まって、ほとんど知らない人たちばかりである。集まるのは地区ごとに写真を撮るだけ。時間に追われていて、喜びを分かち合うというよりも行事をこなしていると感じられる。</p> <p>保育園・小学校・中学校と、ずっと関わってきた地域の方に本当に祝福されて成人式を祝えたら、「ふるさと」を感じて、その後地域を出て行っても、自分の地域にはこの人がいる、帰ってきたら喜んでくれる人がいると思えるのではないか。市職員だけではなく、地域で何かそうやって盛り上げてやっていくことも1つの行事として大事だと思う。</p>

事務局	ご意見として、担当課へ伝える。
委員	<p>娘が今年成人式で、コロナ禍で開催を中止する自治体もある中、断行していただきとてもありがたかった。親は会場に入れなかったが、インターネット配信で様子を見ることはできた。2つの地区に区切って時間で分けられたため、高校時代の友達と離れてしまうようなことはあったが、集まって写真を撮るときは中学校単位であり、そのまま食事に行くなども中学校単位であったので、先の意見のような取り組みは素敵だと感じた。</p> <p>言ってもらえればいくらでも地域の方で動いていくと思うので、市も全てを背負いこまずに、地域を巻き込んで行ってもいいのではないかと思う。そういう仕組みづくりがまち全体でできたら、いろいろなことが活性化していくと思う。</p>
部会長	ただ今出た意見は、部会の報告の中に意見として付記をお願いします。よろしいでしょうか。
委員	(異議なし)
部会長	では、次の説明をお願いします。
事務局	「文化・芸術」(14 ページ) について説明
部会長	<p>文化・芸術について、ご意見・ご質問はありますか。</p> <p>それでは、こちらについては、このように取組を進めていただくということでよろしいでしょうか。</p>
委員	(異議なし)
部会長	では、次の説明をお願いします。
事務局	「生涯学習」(15 ページ) について説明
部会長	生涯学習について、ご意見・ご質問はありますか。
委員	課題部分の最初に、若年層の学習活動への参加を促進する、と

	あるが、若年層とはどのくらいを想定しているか。
事務局	公民館講座だと親子向けの講座もあるので、子育て世代ぐらいをターゲットにしているのかなと思う。参加しない方にもアンケートを取らないといけないということで、インターネット等で参加者以外にもどんな講座がいいかアンケートを取りながら所管課で検討している。
委員	学習をどのような範囲で捉えるかが一番大きな問題。
事務局	所管課では、なるべく幅広い年齢層を対象に検討している。
委員	今後の方針の5つ目、市民の学習活動を創出、活性化するため公民館学習グループの立ち上げや活動に対して支援を行う、とはどういったことを指しているか。
事務局	広報等で、今年は公民館活動でこんな講座があります、ということは当然やっているが、例えば自分でダンス教室をやりたい、というときに、公民館係の方で教室の開催が可能な場所等について相談に応じて、支援している。
委員	市民の学習ニーズについて生涯学習課ではアンケートを取っているか。
事務局	アンケートの内容については確認していないが、令和2年度にアンケートを行っている。担当課に確認する。
部会長	他にはよろしいですか。それでは、こちらについては、このように取組を進めていただくということでよろしいでしょうか。
委員	(異議なし)
部会長	では、次の説明をお願いします。
事務局	「スポーツ」(16ページ)について説明

部会長	スポーツについて、ご意見・ご質問はありますか。
委員	<p>息子がバスケットボールをやっていて、夏の大会が6～7月にあった。ところが6月頃にコロナの警戒レベルが上がり、学校の体育館を一般に貸し出ししなくなった。そうすると、スポーツ少年団の子どもがはじき出され、社会体育館へ回ってくる。息子のバスケットボールは体育センターを使っていたが、そこがスポーツ少年団により使えないということが何度もあった。会場を4分の1ずつ使ってください、ゴールは1個ずつ、という形で貸し出されたことが1回だけあったが、その時は体育館に100人以上がいた。学校の体育館が密にならないように、と言って貸し出さないので、一方で社会体育館はいつも密になっているというのは腑に落ちない。</p> <p>夏の大会前で子供たちももっと練習したい中で、時間も制限があって一時間しかできないような状況で、濃縮して練習したいというところを、そうやって区切られてしまうっていう状況下がずっと3ヶ月ぐらい続いて、腑に落ちないと感じていた。この状況をスポーツ課に伝えてもらいたい。</p>
事務局	スポーツ課にお伝えさせていただきます。
委員	4年後の国民スポーツ大会についてはいつ頃から上がってくるのか。
事務局	令和10年なのであと5年ほど。いくつかの競技が佐久市では開催予定という情報は入ってきており、当然佐久市としても今後体制づくりを進めるが、まだ具体的には決まっていない。
委員	佐久市のスポーツに関しては、ハードとソフトともに佐久市スポーツ協会が指定管理者であるとのことだが、そうすると、佐久市の体育も含めて、計画段階から使用にいたるまで、全てを彼らがコントロールするということか。
事務局	そうではなく、あくまでも佐久市が指定管理者に委託しており、業務仕様書に基づき運営している。どういう風にやっていくかは、佐久市と指定管理者が協議をして決めていくので、今回の

	意見ももちろんスポーツ課に伝え、指定管理者と協議する。
部会長	他にはよろしいですか。それでは、こちらについては、このように取組を進めていただくということでよろしいでしょうか。
委員	(異議なし)
部会長	では、次の説明をお願いします。
事務局	「人権尊重社会」(17 ページ) について説明
部会長	人権尊重社会について、ご意見・ご質問はありますか。
部会長	<p>一昨年くらいに、どうしても人権教育、同和問題について知らない人が多い中で、敢えてこういった学習をしていくことが果たして良いかどうかと思うこともあった。それでもしっかりと学習していかなきゃいけないということで自覚を持ってはいるけれど、合わせて人権については、コロナ差別やいじめ等、本当にいろいろなものがある。その中の1つとしての人権同和という形の捉え方をしていくべきではないか、という意見が出たと思うが、私もその意見に同意する。</p> <p>人権同和課が実際に佐久市にあるが、なぜ同和課なのか、最初はとても違和感があった。実際には人権問題など色々なことを取り扱う課でありながら、あえて名前を人権同和課としていくのが果たして良いのかということ疑問視している。</p> <p>例えば人権推進課とかで、その中の人権同和問題という形で取り組むのでも良いのではないかと考えている。人権同和課を、人権推進課とか皆さんがスムーズに受け入れられるような名前への変更も考えて良いのではないかと提案する。</p>
事務局	人権同和課については以前からこの名前で来ていて、いろいろな経過があると思うので、担当課には再度お伝えさせていただきます。
部会長	他の市ではもう既に人権同和課という名前は使っていないという話も聞いているので、佐久市も発展的にそういったことを考え

委員	<p>でも良いと思う。提案として検討よろしくお願ひしたい。</p> <p>名前だけでなく、取り組んでいる内容についても、そういった視点で見直すとまた違って来るかもしれない。</p>
部会長	<p>それでは、こちらについては、このように取組を進めていただくということでよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>(異議なし)</p>
部会長	<p>では、次の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>「男女共同参画社会」(18 ページ) について説明</p>
部会長	<p>男女共同参画社会について、ご意見・ご質問はありますか。</p>
委員	<p>女性の活躍を推進するというのは嬉しいし素晴らしいことだが、資料の中ではLGBTの方たちのことについて触れられていない。佐久市の総合計画の中にどこにもこういったことが入っていないのは、今の時代にどうかと思う。男性だけではない、女性だけではない、もうひとつの人格があるということをこれから認識していくことが重要だと思うので、どこかに入れていただきたい。</p>
事務局	<p>前期の基本計画では触れていないが、後期基本計画の主な取り組みの中で、LGBTではなく、性的マイノリティという表現で人権の理解を促進する、研修会の開催や啓発活動を推進しますという施策について触れさせていただいている。</p>
委員	<p>課題の一番上、男女共同参画審議会の存在が認知されてない、周知が進んでいない、というのはどうやって調べたのか。</p>
部会長	<p>男女共同参画審議会の中で、そういったものに対して意外と知らない方が多く、もうちょっと皆さんたちに存在をしっかりと周知していく必要があるのではないかという意見が出ている。</p>

委員	<p>アンケートの取り方の問題に関して、このところは問題が起こりやすい。例えば満足度を見るときに、男女共同参画に比較的否定的な人が今の施策に大満足、ここまでやればいいだろうという意見で満足をつけた。実際に参画したい人たちは、まだちょっと足りないと思って不満足をつけた。満足度を集計してみると満足側に結論が出た、というようなことが起こりやすいのではないか。そういうことがあるのを意識して欲しいという説明するのに、比較的わかりやすいと思う。最初の方に話したアンケートの工夫を、改めて何か考えてほしい。</p> <p>もう一つ、先ほどマイノリティの話が出たが、医学や脳科学の話で、マイノリティとマジョリティが本当に今までの概念どおりか疑問を呈している研究結果が結構出てきている。例えば、脳科学的には、完全に女性、男性といった従来の概念に当てはまるのは全体の5%しかおらず、その中間のところが残る95%だそう。つまり、そちらがマジョリティだというようなことを、当然考えなければならぬ。具体的な施策で言えば、自治体によって対応が分かれる同性婚の受付の話などに、そろそろ踏み込んで議論することも必要ではないかと思う。</p>
事務局	<p>ご意見として検討させていただく。</p>
部会長	<p>男女共同参画について、男女共生ネットワークにて去年から新しい朗読劇を作って啓発活動を行っている。具体的には、もう男でも女でもない、別々に考える必要もないし、本当に平等なのだ、というものを1つの家庭の中での出来事を取り上げる朗読劇をやっている。先日の市民フォーラムの際にも発表させていただいて、皆さんからもすごくいいねっていうことで高評価をいただいた。今度11月に人権共生フェスティバルがあるが、そのときにも朗読劇をまたやらせていただく形で今進めているので、ぜひ皆さんも見てください、男女共同参画ということに対してのご理解を進めていただければ嬉しい。</p> <p>もう一点、パートナーシップ佐久において男女共同参画に関していろいろ企画しても、やはり男性の参加が少ないという意見がある。できるだけ女性だけじゃなくて、男性にも出てきていただければありがたい。今、佐久平女性大学が発足して、素晴らしい人材育成が進められているわけだが、逆に皆さんのご意見として</p>

	<p>出ているのが、女性大学だけじゃなくて男性大学も作ってやっていく必要があるのではということ。女性が学習していくことはもちろんだが、例えば区長会とかこういった会議とか審議会などに出ていって、女性が何か発言したときに、上から目線でやられて嫌だ、と感じる部分がある。女性は一生懸命何とかして色々な所に出て活躍していきたい、という努力をしているが、それを受け入れる、と言うとおかしいけれど、男性が少し意識を高めていくことが必要じゃないかっていう意見を何回か伺っているので、今後そういったことも考えていただきたい。</p>
事務局	<p>ご意見として承らせていただく。</p>
委員	<p>アンケートで男子、女子という選択肢にもう一つ付け加える予定はないか。これだけ騒いでいる割にはそういうことは全然変わっていない。</p>
委員	<p>どうして男女に分けるのか不思議に思っていた。迷っている人もいるはず。進んでいきたいというなかで、ちょっと遅れているなあ、という気持ちがある。市役所のトイレも男女しかない。</p>
事務局	<p>多目的トイレもございます。最初は障がい者の皆様に、ということでしたが、今はそういった方も含めて「多目的トイレ」という呼び方になっている。</p>
事務局	<p>投票権や各種申請だとか、少しずつ改善できるところはしていると思うが、おっしゃる通り、まだ少しそういうところあるかと思う。</p>
部会長	<p>時代に合った形で進めていくことは大事だと思いますので、ご意見として聞いていただきたいと思う。</p>
委員	<p>課題の一番下から2番目、相談窓口に寄せられたDV関係について、ここには母親や大人がDVをされているときの逃げ道しか書いていないと思う。子どもがDVの被害を受けたとき、子どもはそういうことをされるのが当たり前とっていて、SOSが出せない場合が多い。</p>

	<p>何かおかしい、と気づいたときに相談できる場所としてチャイルドラインがあるが、公衆電話の数が減っており、また、固定電話がない家庭も増えている中、子どもが電話をかけるには親の電話を借りるしかなく、学校からチャイルドラインのはがきをもらっても、両親に聞かれない状況でどうやって連絡をすればいいのか分からない、という子が増えてきていると感じる。</p> <p>子どもがチャイルドラインにつながれば救い出せるところ、そこにつながる手段が今の子どもには本当になくて、これだと母親や父親は救い出せても、子供を救い出せる手段がないのではないか。</p> <p>そこで、学校の先生とか保育士とか子供たちに接している誰かが、もしかしたらでもいいから情報提供をできるホットラインみたいなのを作ってもらえると私達も相談しやすい。</p> <p>子どもたちを救える何かと思って、公衆電話のマップを作ってもらいたいと議員さんとかにお願いしている。地区ごとの大きな地図にすると、子供たちが分からなくなるので、小学校単位ごとぐらいに公衆電話はここにあるよ、というマップみたいなものを作ってもらえると、何かあったときに 10 円を持って電話できると思う。それがゆくゆくは子供だけでなく、高齢者とかのガイドマップにもなると思いお願いしている。公衆電話だけでなく、その子を救えるラインを考えていただきたいと思う。</p> <p>関係者同士で細かいことを連携する会議とかはある。あまりにもひどかったら学校にあげて、先生と連携を取ってと言われるが、結局大体は見守っておしまいになる。しかし、それを飛び越えて、以前大丈夫かなと思っていた子が保護されて、養護施設に行った例もあったので、何が起こるか分からない。子供たちも一番被害を受けているのは自分なのに、お母さんがかわいそうだから言わないみたいな感じになっているので、見逃さないようなシステムができていけばと思う。</p>
事務局	<p>チャイルドラインは自宅に固定電話があった前提で組み立てができていますが、最近は固定電話を置かない家庭も増えているから、それも含めて考えていく必要があると思う。子育て支援課に伝えさせていただきたい。</p>
委員	<p>私達はDVや虐待を察知したら警察や児童相談所に通報する</p>

	<p>義務がある。チャイルドラインでここに電話をしてねっていうときに、お家で電話がかけられなかったら先生に言ってね、とか、児童館でもそう言ってもらえるのもすごくいいと思う。チャイルドラインに電話したときに、チャイルドラインは「こうしなさい、ああしなさい」とは言わない。子どもたちの話を聞いてあげて安心させることが目的なので、学校の先生に言った方がいい、とか、市役所に電話した方がいい、ということは基本的になかったと思う。でも、そこに言えた子どもが勇気を持って、行動を起こすことはできると思うので大事なことだと思う。少しのことでも見逃さない児童館の先生はありがたいと思う。学校でもちょっと傷や打撲があったり、学校を休みがちだったりしたらすぐに問題にしてあげるといいのでは。</p>
部会長	<p>それでは、時間にもなりましたので、こちらについては以上でよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>(異議なし)</p>
部会長	<p>それでは、本日の目標の審議が全て終了いたしました。</p>

(2) その他

部会長	<p>その他について、事務局から何かあるか。</p>
事務局	<p>次回の開催は、8月26日(金)13時30分から、6章、7章の審議を予定。</p>
部会長 委員	<p>全体を通して何か。 今回の資料に過去の満足度指数の推移が載っているが、最終的にはどこに持っていくのか。これからやる施策に対して、数値目標をどこに置くのかを明確にするべき。これから令和8年度にはどこに向かって施策をやっていくのかということ盛り込んでもらいたい。</p>
事務局	<p>今年は前期基本計画の進行管理をご審議いただいているが、昨年度は後期基本計画を策定するために審議会委員の皆様にご議論いただいた。その際、令和8年度の数値目標をどこに持ってい</p>

委員	<p>くかについても一緒にご議論いただいた中で、最終的に取りまとめているので、その目標に向けて来年度から後期基本計画の進行管理をお願いしたい。</p> <p>他の審議会もそうだが、答申は出ているが、ホームページにて審議の過程が見えるようになっていない。審議会等の対象である各種計画について、計画の原案、審議会での審議後の素案、パブリックコメント後の決定版の3つについて、修正理由等を付した新旧対照表形式のものを公表してもらいたい。</p> <p>また、市のホームページについて、更新日が随時更新されており、その都度何が変更されたのか分からない。更新日の横に更新履歴を付けるなど、変化を把握できるようにしてもらいたい。市のホームページにおいて、公表されていたパブリックコメントの結果がいつの間にかなくなってしまうようなことが結構ある。</p>
事務局	<p>広報広聴課に共有し確認させていただく。一番は追っていくときに分かるようにしてもらいたいということでしょうか。</p>
委員	<p>協働や防災など、市民全体を巻き込まないといけない部分は特にそうだと思う。</p>
部会長	<p>それでは、以上で本日の全ての審議が終了となります。</p>

3 閉会

(確認事項)

○公民館学習グループの立ち上げや活動に対する支援について

・教育委員会において、市民の学習活動を創出活性化するため、公民館学習グループの立ち上げや活動に対し支援を行っている。具体的な内容としては、公民館学習グループは登録制になっているところ、登録要件の緩和（人数の要件を10人から5人に緩和）や、活動に係る使用料の減免等の支援を行っている。